

# IV-3 関東

延べ宿泊者数は全都県で増加  
各地で新たな切り口での魅力発見・創出の試みが続く  
交通関連の社会実験も多様なフェイズで実施される

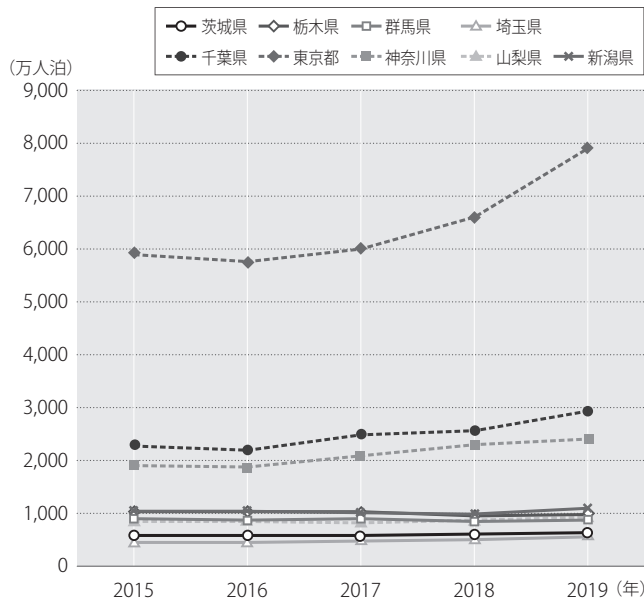
## (1) 都道府県レベルの旅行者動向

### ① 宿泊者数の動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、2019年1～12月の関東地方1都8県の延べ宿泊者数は1億8,204万人泊で前年比12.6%増と、全体として好調に推移している（図IV-3-1）。都県別にみてもすべての都県において前年比で増加しており、特に東京都の前年比19.5%増、千葉県の前年比14.2%増が目立つ他、新潟県が同11.9%増、埼玉県が同10.7%増と2ケタの増加を示した。

外国人延べ宿泊者数は前年比22.3%増の4,102万人泊で、こちらも関東全体で前年と同様、2ケタの増加を示した（図IV-3-2）。都県別にみると、こちらも東京都が前年比26.5%増と大きく伸びた他、新潟県（前年比18.7%増）、神奈川県（同18.0%増）、千葉県（同16.6%増）の好調が目立つ。

図IV-3-1 延べ宿泊者数の推移（関東）

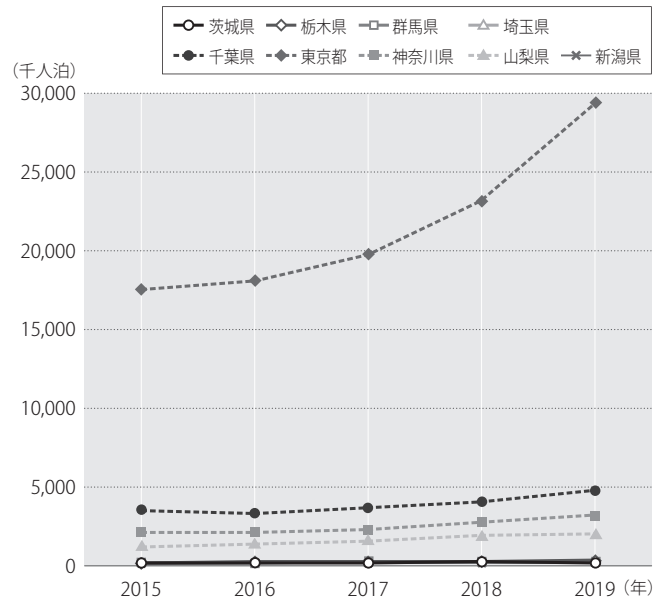


	2015	2016	2017	2018	2019
茨城県	574	561	561	589	630
栃木県	1,029	1,032	1,022	947	956
群馬県	883	865	876	831	865
埼玉県	433	447	459	491	544
千葉県	2,257	2,188	2,464	2,559	2,923
東京都	5,909	5,751	5,995	6,611	7,898
神奈川県	1,907	1,875	2,076	2,302	2,388
山梨県	843	835	802	861	907
新潟県	1,026	1,020	1,020	977	1,093

単位：万人泊  
資料：観光庁「令和元年宿泊旅行統計調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

一方、茨城県が前年比14.5%減（2018年は前年比10.2%増）、埼玉県が同4.8%減（同前年比5.0%増）と前年の増加から減少傾向に転じた。

図IV-3-2 外国人延べ宿泊者数の推移（関東）



	2015	2016	2017	2018	2019
茨城県	201	225	231	254	217
栃木県	232	252	272	323	355
群馬県	160	214	291	289	292
埼玉県	159	170	219	230	220
千葉県	3,500	3,345	3,675	4,116	4,798
東京都	17,561	18,060	19,776	23,195	29,351
神奈川県	2,156	2,161	2,337	2,754	3,249
山梨県	1,252	1,371	1,609	1,961	2,055
新潟県	263	267	315	405	480

単位：千人泊  
資料：観光庁「令和元年宿泊旅行統計調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

## (2) 観光地の主要な動き

### ① 地方・都道府県レベル

#### ● マス釣り客による県内消費額の試算（栃木県）

中禅寺湖は男体山の噴火により生成した堰止め湖であるが、明治期以降、湖岸には欧米諸国の大使館別荘が建設され当時の外交官らの避暑地として機能し、戦後には「いろは坂」が開通して同湖を含む奥日光エリアの観光地化が進んだ。そうした中、中禅寺湖漁業協同組合がマス類の養殖・放流に注力し、中禅寺湖は「マス釣りの聖地」として多くの釣り客に親しまれることとなった。しかしながら2011年3月の原発事故に伴う放射性物質汚染によって一部魚類の持ち出しが禁止される事態となり、中禅寺湖漁業協同組合と栃木県は翌2012年に釣った魚を持ち帰らず湖に帰すキャッチ&リリース（以下、C&R）制を導入して釣りを解禁して釣り客の誘客に取り組んできた。

こうした経緯のもと、栃木県水産試験場が「釣りによる地域振興」という観点から中禅寺湖に訪れた釣り客による県内消費額の試算を行った。その結果、観光客の県内消費額単価9,687円と比べてマス岸釣客の県内消費額単価は7,020円、同じくマス船釣客は14,576円であること（いずれも2018年の数値）、2012年から2018年の7年間でC&R制を目的に訪れた釣り客は延べ9万2千人、栃木県内での消費額は約7.7億円に上ること等が推計された。

### ●群馬県立世界遺産センターの開館（群馬県）

2014年6月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」がわが国14番目の世界文化遺産に登録され6年が経過し、群馬県富岡市に「群馬県立世界遺産センター」（愛称：「世界を変える生糸（いと）の力」研究所、略称：セカイト）が開業した。

歴史的な倉庫群である「富岡倉庫」の1号倉庫を改修して開設されたもので、世界遺産の構成資産である「富岡製糸場」「田島弥平旧宅」「高山社跡」「荒船風穴」の価値や魅力をわかりやすく紹介するとともに、大学等と連携して世界遺産を中心とした絹にまつわる産業・歴史文化の研究に取り組み、総合的な情報発信を行う施設となっている。

※当初2020年3月の開館を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、同6月に延期された。

### ●秩父地域でボランティアツーリズムの検討開始（埼玉県）

埼玉県では、秩父地域1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）の観光担当者や関係者が集い、ボランティアツーリズムを新たな切り口に観光客と地域住民の交流を通じて双方にとって意義を感じることができると、社会的効果を意識した観光について検討を開始した。

2020年3月5日に開催された秩父地域観光担当者会議では参加者が「ボランティア（社会貢献）の場」、「ランチ」、「観光」の素材を持ち寄ってグループワークを実施、これら3つの要素を組み合わせ「どぶろく“花咲山”のルーツを巡るツアー」、「下山祝い日本酒で！秩父の名水武甲山伏流水を守るツアー」等18のツアーコースイメージを提案した。

会議参加者は「ボランティア・ランチ・観光素材アイデア集」と「ツアーイメージアイデア集」を共有し、2020年度は具体的な実現可能性も考慮したツアーについてさらに検討を進める予定である。

### ●「芝公園を核としたまちづくり構想」の策定（東京都）

東京都は芝公園（港区）を核とする地域について江戸・東京の歴史文化の再生や新たな賑わいの創出等を通じて同公園の機能を一層高めるため、地域の将来像や周辺のまちづくりとの連携等について検討を進め、2020年2月「芝公園を核としたまちづくり構想」を策定した。

構想の具体的な対象範囲は明治期の太政官布達による芝公園の区域と定め、その将来像を「『江戸の杜』に集う：江戸東京文化の体感と国際的な交流の促進」とした。江戸草

創期に遡る芝公園の資産を顕在化するとともに、歴史的資源を活用して国際交流を促進するなど、都心に息づく江戸東京のレガシーを体感できる地域を目指すものである。

まちづくりの方針としては1) 江戸東京の資源再生、活用等による国際的な観光・交流拠点の形成、2) 市街地環境の向上、3) 地域の防災性向上の3点を掲げた。特に1)については歴史・文化を発信する施設整備に加えて緑地や広場の配置による往時の空間的な領域・軸線の再生等、地域が重ねてきた時間の蓄積を重視しつつ、周辺市街地との結節点に多様な機能を導入・集積させ新しい賑わいの拡充を打ち出している。

### ●3カ年度目を迎えた「TOKYO旅館ブランド構築・発信事業」（東京都）

東京都は2017年度より「TOKYO旅館ブランド構築・発信事業」として、旅館を中心とした地域グループが実施する、東京の旅館ブランド構築に向けた外国人旅行者誘致等の新たな取組に対する支援を行ってきた。補助期間は3ヶ年度以内で補助率は補助対象経費の3分の2以内、補助額は1グループあたり年間1,000万円程度が限度である。

これまでに地域グループ内の商店と連携した宿泊者に対する各種割引サービスの実施、地域の魅力や文化を活かしたイベントの実施、周辺施設マップの作成・提供など地域回遊性の向上に向けた取組等が支援対象に選定されている。

事業開始後3ヶ年度目となる2019年度は日本橋浜町から日本の手しごとの魅力を発信するグループ（UDS株式会社）と浅草観音裏の地域活性化グループ（株式会社レッドテック）が支援対象として選ばれた。前者では日本の職人の手しごとによる作品を部屋の一部として展示する他、外国人旅行者も参加可能な寄席や周辺住民と交流できる着付け体験等のイベント実施等を、後者では江戸時代の「駕籠」をイメージしたEVバイクを利用した観音裏の案内、旅館周辺の飲食店等の英語メニュー作成や購入・飲食代金を旅館でキャッシュレス決済可能とする環境整備等を、それぞれ計画している。

### ●西多摩地域におけるシェアサイクル実証実験（東京都）

東京都と公益財団法人東京観光財団では、西多摩地域の観光施設等を周遊するための交通手段として、シェアサイクルの有効性を検証することを目的とした実証実験を2020年2月25日より1年間の予定で実施している。

同シェアサイクルは「東京渓谷サイクリング」と銘打たれ、所定のWebサイトより会員登録を行うことで電動アシスト自転車の利用が可能となる。秋川渓谷流域（あきる野・日の出エリア）と御岳渓谷流域（青梅エリア）の両エリアに1カ所ずつ有人店舗のポートがある他、無人ポートも設置されており、自転車を借り受けたのと同じエリア内のポートに返却可能である。

利用料金は1日料金（借りた時刻から当日の23：59まで）が2,500円、30分課金が8：00から20：00までが250円、20：00から翌日8：00までが25円となっており、クレジットカードで決済する。また、あわせて両エリア内を巡る「とっておきのルート10選」を



設定し、「自転車NAVITIME」アプリによる案内サービスも提供している。

### ●相模湾における海上タクシーの実証実験（神奈川県）

神奈川県では海洋拠点ネットワークの形成による海域の回遊性向上と、海からでないことのできない景観の観光コンテンツ化を図る「かながわ海洋ツーリズム」を展開している。

その取組の一環として、2019年9月から12月にかけて渋滞を気にせず海の魅力を体感しつつクルーズ気分でも快適に移動可能な海上タクシーの実現を目指す実証実験を実施した。旅客定員12人以下の船舶（非旅客船）を用いて、三浦半島から湘南海岸にかけての相模湾岸に整備されたマリーナ、港湾、海の駅の決められた2地点間を結ぶものである。

計8つの航路を設定し、乗船料金（一艇の貸切料金）は船舶の運行を行う事業者や航路によって片道で3,000円～25,000円の予定であったが、悪天候や台風19号に伴う設備損傷等の影響により実際には6航路（料金は3,000円～6,000円）となった。この実施結果を受け、今後の事業化が検討される。

### ●「南アルプス観光振興ビジョン」を策定（山梨県）

山梨県では、2020年3月、南アルプスユネスコエコパークの範囲内を計画対象とする「南アルプス観光振興ビジョン」（計画期間は2020～2022年度）を策定した。

南アルプス地域がユネスコエコパークに登録され自然と人間社会との共生を目指し、自然環境の保全と持続可能な方法で利活用が強く求められていることを踏まえ、南アルプス観光の目指すべき姿を「世界中の人々が何度も訪れたいと思えるグレードの高い南アルプス観光の確立」と定めている。

その上でユネスコエコパークのゾーニングに従いビジョンの方向性を示した。核心地域は国立公園の特別保護区がその多くを占めるため、自然保護を基本とした観光を、緩衝地域はエコツーリズム、森林セラピー、教育・研究など自然を利用した持続可能な観光を、移行地域では観光資源を連携させるとともに核心地域、緩衝地域とも連携した周遊観光を、それぞれ推進することとしている。

### ●「『佐渡金銀山』保存・活用行動計画」の進捗状況評価（新潟県）

新潟県では、世界文化遺産登録後を視野に入れ、構成資産の将来的な価値保全と活用を目指し、2016年3月に「『佐渡金銀山』保存・活用行動計画」を策定した。計画策定後は同計画に基づく各種事業の進捗状況を把握するため、年度ごとに事業内容を点検し、評価を行っている。

同計画に基づいて新潟県、佐渡市等が実施した2019年度事業は「佐渡金銀山の保存管理」に係るものが20事業、「世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備」に係るものが64事業、「世界遺産を核とした魅力ある地域づくり」に係るものが35事業で、合計119事業に上るが、これら事業の全てが計画を上回る状況もしくは概ね順調に進捗していると評価された。

### ②広域・市町村レベル

#### ●庭園間交流連携促進計画に基づく関東地方のガーデンツーリズム登録（茨城県、神奈川県、新潟県）

国土交通省が2019年4月に地域の活性化と庭園文化の普及を目的として創設した「庭園間交流連携促進計画登録制度（ガーデンツーリズム登録制度）」によって、庭園や公園が連携して地域の魅力向上を図る取組の募集が行われた。

その結果、有識者による審査を経て第1回（2019年5月）、第2回（同10月）合計で8件の庭園間交流連携促進計画が登録された。関東では「ガーデンネックレス横浜」、「富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム」、「にいがた庭園街道」（以上、第1回登録）、「いばらきガーデン&オーチャードツーリズム」、「湘南邸園文化ツーリズム」（以上、第2回登録）の計5件が登録された（表IV-3-1）。

各計画の登録団体においては地域の特性を反映させた独自のストーリーのもとにそれぞれの構成庭園を結びつけ、新たな切り口で地域の魅力を発信するとともに、庭園巡りツアーや庭園を題材とした講座等を実施していく。

表IV-3-1 ガーデンツーリズム登録制度 登録計画一覧

登録計画名	県名	構成庭園
ガーデンネックレス横浜	神奈川県	山下公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、新港中央広場、横浜イングリッシュガーデン、横浜山手西洋館、里山ガーデン、八景島
富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム	神奈川県・静岡県	恩賜箱根公園、三島市立公園楽寿園、沼津御用邸記念公園、秩父宮記念公園
にいがた庭園街道	新潟県	普濟寺、渡邊邸、清水園、五十公野御茶屋、市島邸、五十嵐邸ガーデン、長生館の庭園、孝順寺、椿寿荘、北方文化博物館、旧小澤家住宅、北方文化博物館新潟分館、新潟市旧齋藤家別邸
いばらきガーデン&オーチャードツーリズム	茨城県	偕楽園公園、弘道館公園、笠間つつじ公園、国営ひたち海浜公園、セツ洞公園、酒沼自然公園、茨城県植物園、茨城県フラワーパーク、水戸市植物公園
湘南邸園文化ツーリズム	神奈川県	万代会館、山口蓬春記念館、蘆花記念公園、旧山本条太郎別荘、旧モーガン邸、俣野別邸庭園、茅ヶ崎館、大磯城山公園旧吉田茂邸地区、大磯城山公園旧三井別邸地区、明治記念大磯邸園、旧木下家別邸、小田原邸園交流館 清閑亭、小田原文学館 本館・別館、松永記念館・老樹荘

資料：国土交通省HPより（公財）日本交通公社作成

#### ●日光白根山火山防災マップの作成（群馬県沼田市・片品村、栃木県日光市）

日光白根山は火山噴火予知連絡会が「火山防災のために監視・観測体制の充実等の必要がある火山」として選定した47の火山の一つである。地元の日光白根山火山防災協議会（群馬県沼田市・片品村、栃木県日光市）では、2018年度に同協議会が策定した「日光白根山ハザードマップ」並びに「日光白根山火山防災避難計画」に基づいて「日光白根山火山防災マップ」を作成、2019年12月に発行した。

登山客や観光客を対象として火山現象の影響範囲や避難経路などの周知を図ることを目的として作成されたもので、日

光白根山の噴火警戒レベルについて解説し、日光白根山で想定される火山現象、レベルに応じた登山道の規制、登山・観光を行うに際しての注意事項、噴火した場合に取るべき行動等について記載している。

#### ●広域連携による冬のインバウンドスキー客周遊観光促進（新潟県 上越市・糸魚川市・妙高市）

上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド推進検討会では、3市が連携した観光地域づくりを推進する取組の一環として、冬のインバウンドスキー客の周遊促進のためのスタディーツアーを実施した。

妙高市赤倉の宿泊施設やスキー場の外国人スタッフ等を対象に外国人利用客への案内力向上のため、上越周遊ルート、糸魚川周遊ルート（いずれも2020年1月23日）を設定した。前者では座禅、老舗料亭での伝統的な和食、水族館の見学などを5名が、後者では酒造での日本酒試飲、フォッサマグナムミュージアムでのガイドによる解説、漁港での昼セリの見学などを7名が体験し、地域資源やその体験の魅力度、地図やガイド等の案内・情報提供等についての意見が寄せられた。

#### ●新東名高速道路（伊勢原JCT～伊勢原大山IC）が開通

新東名高速道路において、2020年3月、東名高速道路と接続する伊勢原JCT（神奈川県伊勢原市）～伊勢原大山IC（同左）間2.4kmが開通した。

伊勢原JCTはハーフジャンクションとなっており、伊勢原大山IC方面と東名高速道路の静岡・名古屋方面の双方向、新東名高速道路の下り線から東名高速道路の上り線（東京方面）、東名高速道路の下り線から新東名高速道路の上り線（海老名南JCT方面）は利用できない。

開通した距離は短いものの、伊勢原大山IC周辺の工業団地等で物流の効率化が進む他、観光面では丹沢大山国定公園に位置する大山への所要時間短縮と利用者増加の効果が期待される。

#### ●銚子で観光型MaaSの社会実験を実施（千葉県銚子市）

銚子市では2019年の夏休み期間中（7月19日～8月31日）、株式会社ナビタイムジャパン、KDDI株式会社、銚子電気鉄道株式会社と連携し、カーナビゲーションアプリ「NAVITIMEドライブサポーター」を利用した観光型MaaSの社会実験を実施した。同アプリの有料会員で、銚子電気鉄道の開業96周年にちなみ96km以上走行して銚子を訪れた観光客を対象とした。

犬吠駅前の無料駐車場と銚子電鉄1日乗車券、沿線観光スポットの入場割引を組み合わせてパークアンドライドによる周遊観光を推進する他、市内6つの観光スポットをチェックポイントにしたチェックインラリーを開催し、自動車移動によってより広く銚子の魅力を知ってもらう仕組みとした。また、この他にも銚子市と共同で設定した銚子のおすすめドライブコース等を提供した。

#### ●横浜で新たな魅力と賑わいを創出するナイトタイムエコノミーなど支援（神奈川県横浜市）

公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューローは、横浜の新しい魅力と賑わいを創出することを狙いとして、市内経済の発展及び都市ブランド向上につながる「横浜クリエイションスクラム助成事業」の公募を行った。対象となるのはナイトタイムエコノミーを推進する事業、市内の既存資源を利活用する事業、市域を越えて連携を図る事業のいずれかに合致するものとされ、審査委員会の審査により5件が選定された。

音楽や飲食など横浜港周辺で24時まで気軽に楽しめるように地域連携によって宿泊者へ特典・優待を設定、宿泊客増加を図る事業（びあ株式会社）、野毛・中華街・関内エリアのナイトタイムコンテンツを楽しむためのウェブガイドマップを構築、ナイトライフに特化したバリアフリー情報を発信する事業（ナイトタイムエコノミー株式会社）等、ナイトタイムエコノミーに関連する事業が目立つ。

#### ●江ノ電沿線住民等の移動円滑化の社会実験（神奈川県 鎌倉市）

鎌倉市は江ノ島電鉄株式会社の協力のもと、2019年のゴールデンウィーク期間中（5月3日～5日）、江ノ電沿線の住民の日常生活に影響が生じる状況を考慮し、その移動を円滑化する社会実験を実施した。この社会実験は2017年度にスタートしたもので、3年目となる今回は住民の声を反映させ、2018年度に比べて対象者と実施期間を拡大した。

江ノ電の和田塚駅～腰越駅に在住・在勤・在学者を対象に鎌倉市が事前に「江ノ電沿線住民等証明書」を発行、これを社会実験期間中に江ノ電鎌倉駅西口改札で提示すると乗車待ちの列が駅の構外まで及んだ場合も行列に並ばず改札内に入場し、駅構内の列の最後尾に並ぶことが可能となるものである。

その結果、対象者約4万3千人に対して証明書発行枚数は2,811枚で、発行枚数に対する使用割合は約4.8%（2018年度は対象者約3万5千人に対して発行枚数1,471枚、発行枚数に対する使用割合は約6%）であった。また、社会実験初日に乗車待ちをしていた観光客等132名にアンケートを実施した結果、124名（約9割）が今回の取組について理解できる又はおおむね理解できると回答した。

（淑徳大学 堀木美告）